

「ユーザーの声を集める活動」 3年ぶりに再開

自動車税制改革フォーラム

活動チラシも制作

自動車関係21団体で構成する自動車税制改革フォーラム（事務局：日本自動車会議所）は、「ユーザーの声を集める活動」を3年ぶりに再開しました。新型コロナウイルス感染拡大のリスクを回避するため、イベントや駅前などでのアピール活動を2020年から中止していましたが、社会・経済活動が少しずつ活発化してきていることや、政府による行動制限が発令されていないことなどから再開することとしました。活動再開に伴い、「クルマの税金」の負担感や不合理さを訴えるチラシも制作し、フォーラム団体のさまざまな活動や取り組みの中で広く配布することにしています。

「ユーザーの声を集める活動」は、感染状況に注視しながら、十分な感染対策を行い、細心の注意を払うことにより実施することにしています。日本自動車連盟（JAF）が中心となり全国で展開する予定で、すでに北海道・旭川、秋田、千葉、岐阜、京都、

広島、香川、福岡などの道府県で行われています。

多くのユーザーから多様なご意見が寄せられており、今後、JAFホームページで紹介される予定です。

チラシについては、2020年に制作したデザインや内容を踏襲し、「ユーザーの声を集める活動」をイメージさせるデザインとなっています。2020年はデータのための制作のため、実際の配布は2年ぶりとなります。裏面ではこれまで同様、いかにクルマの税制が不合理であるのかを訴えており、フォーラム活動やクルマの税金の問題などを周知していくことにしています。



フォーラムが制作した活動チラシ

くらしの足をみんなで考える 全国フォーラム2022

11月19日、20日 3年ぶりに実開催

「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2022」が11月19日、20日の両日、東京大学（本郷キャンパス）で右記の通り開催されます。今回のテーマは「共創」で、3年ぶりの実開催となります。

同フォーラムには国の機関、自治体、大学・研究機関、バス・タクシー事業者、NPO法人、福祉・介護・医療関係などから多数の実務者らが参加。2012年から毎年開催され、地域公共交通の維持・活性化に取り組んでいます。例年、討論やポスターセッション（取り組み紹介）、グループディスカッションなどを通じて実践例を報告し合うほか、MaaSやCASEなど新たなテーマにも取り組みながら、「くらしの足」の課題解決に向けて活発な意見交換を行います。

記

■開催概要

○11月19日（土）13：30～17：00

・パネルディスカッション「みんなで助けよう お出かけの和」、ポスターセッションなど

○11月20日（日）9：30～12：20

・基調講演「バスによる幹線輸送の魅力と可能性」
講師は中村文彦氏（東京大学大学院特任教授）
・パネルディスカッション「幹線としての路線バスにできることはもうないのか？」

○場所：東京大学（本郷キャンパス）工学部2号館
・オンライン配信あり（YouTube）

○参加費：2,000円

○共催：（公財）交通エコロジー・モビリティ財団

○後援：国土交通省、厚生労働省、経済産業省、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会など

○メディアパートナー：東京交通新聞社

※お申し込み・詳細はこちらから

<https://zenkokuforum.jimdofree.com/>